

【二月の言葉（平成三十一年）】

仏の光により 心の眼が開けば

自分の愚かさが見えてくる

人間の眼は、光がなければ何も見えません。

光によって眼が機能し、見る事ができるのです。
真つ暗闇では何も見えません。

私たちの眼は、自我のメガネをかけています。自分のモノサシ・好き嫌い・価値観など、狭い見方で見ているのです。

大切なことを見逃し、自分自身さえも正しく見ることができません。仏の光に照らされると、心の眼が開いてくるのです。そうすると今まで見えなかった”自分を生かしてくださっている働きや、自分の愚かさ・恥ずかしさ・罪深さ”が、見えてくるのです。

光の中に照らされ、煩惱いっぱいの凡夫のまま、いのちが輝いてくるのです。